

⚠️ 採血を行う前に必ず最後までお読み下さい。

- 血液の出にくい方、冷え性の方、指先の角質が厚くなっている方は、お風呂上がりなどで指先まで温まり皮膚が柔らかくなっている時に採血して下さい。
- 正しい結果を得るために**食後4時間以上**経ってから採血して下さい。
- 採血・返送は検査及び郵便の都合上、土・日・祝日、大型連休や年末年始は避けて下さい。

器具の破損・不明な点等は

0120-747-122

郵送健診キットお客様相談室まで
受付時間 月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

郵送健診サービスの流れ

1. 在宅検診

商品に同封されている検診依頼書に必要事項を記入し、取扱説明書をよくお読みの上、検査キットをご使用下さい。



※参照 採血の手順 ①

蓄冷剤を凍らせる 4時間

↓
採血 採血の手順参考
※食後4時間以上あけて下さい

↓
乾燥 2時間

採血の手順 ②③④

2. 検査物郵送

採取した検査物を検診依頼書と一緒に同封の返送用封筒に入れ、提携医療機関宛に午前中に投函して下さい。



午前中に投函
切手不要

採血の手順 ⑤⑥

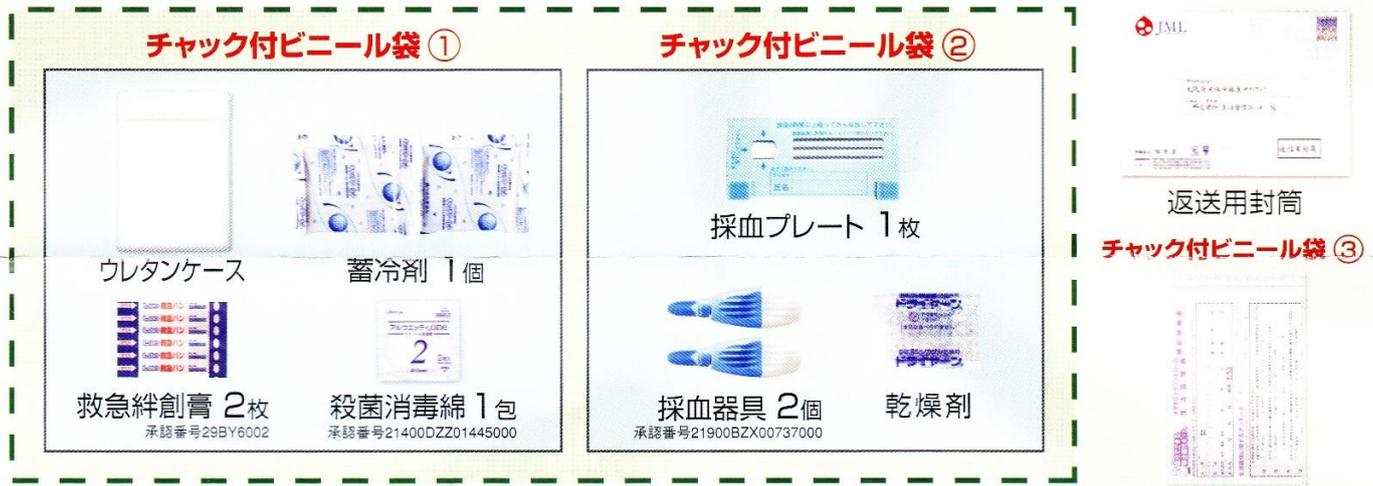
3. 検診結果

到着後、約7日～10日で検診結果が届きます。



採血の手順 ⑦

箱の中身をご確認下さい。(器具の破損や不足がありましたら上記相談室にご連絡下さい)



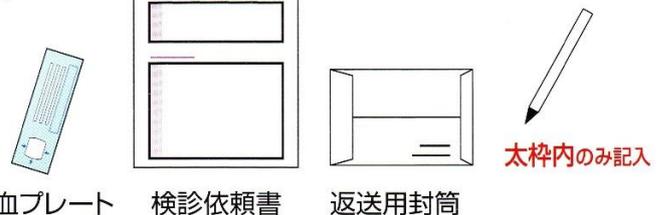
チャック付ビニール袋は、返送時に使用しますので捨てないで下さい。

検診依頼書

採血の手順

① 検診依頼書、返送用封筒への記入を行います。

- 1.箱に入っている検診依頼書・返送用封筒と採血プレートの太枠内にある、住所・氏名・採血日時・アンケートなどを**鉛筆又はボールペンではっきり**とご記入下さい。



太枠内のみ記入

② 採血の準備

- 1.採血に必要なもの(上の図の点線内)をビニール袋から出し、机の上に並べて**中身を確認**して下さい。
- 2.蓄冷剤をウレタンケースに入れ、ウレタンケースごと**冷凍庫の平らな場所**で**4時間以上**凍らせて下さい。(返送時に使います)
※平らでないと封筒に入らなくなることもあります。



冷凍庫で4時間以上

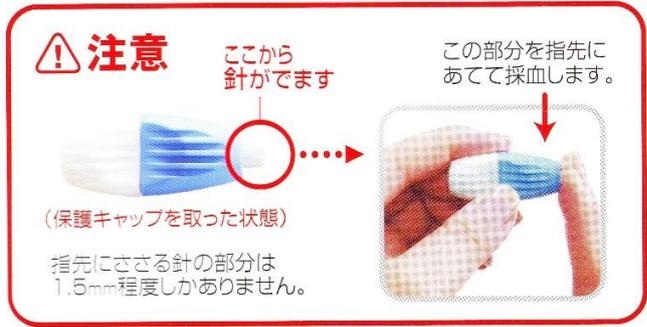
- 3.指先は石鹸と温水でよく洗って、清潔なタオルでふいて下さい。

採血の手引きつづき

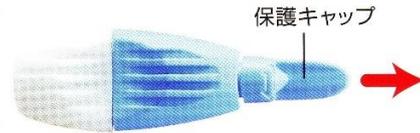
2 採血の準備つづき

4. 採血器具の準備をします。
作業の前に針の出る位置を確認して下さい。

※右図は保護キャップを取った状態ですが、実際に袋に入っている状態は**保護キャップがついたまま**です。



5. 採血器具の**保護キャップ**をねじって引っ張り、ホルダーから取り外して下さい。



保護キャップをねじって引きぬきます。

※一度作動した採血器具は二度と作動しません。

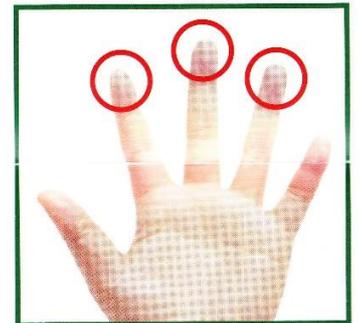
※採血器具の色は変わる場合があります。

3 採血をする

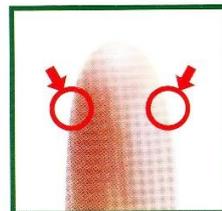
採血プレートを用意します。

1. まず採血する指の付け根を指先に向かってよくマッサージし、その後立ち上がり、**腕を心臓より下げて**採血しやすくします。そして採血をおこなう指先を選んで、消毒綿で拭いて下さい。

※採血する指先は右の図を参考に決めて下さい。

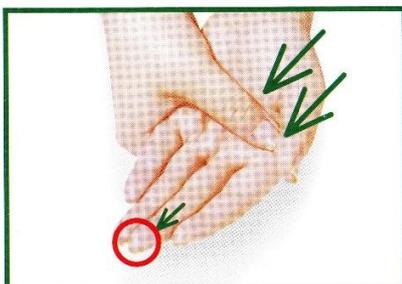


2. 指を**テーブルの上など固い物**に置いて固定し、採血器具を指で保持し、採血部位周辺を指で圧迫し、皮膚を張らせた状態で、採血器具の先端を採血部位に押しあてます。(ホルダー先端が少し引っ込みます。)



※指先の採血部位は、指の中央よりやや外側もしくは指腹の中央を選んでください。(↓の部分)

3. 押し付けると針が出ます。
作動するまで採血器具を指先から離さないで下さい。
針は使用直後に本体内に格納されます。



※血液が出にくい時は、手のひらから指先に向かってもみ出すようにマッサージすると



4 血液を滴下する

1. 採血を行った指の付け根をにぎり、その指先に向かって血液を、採血プレートの採取部にしぼり出します。



採取部

- ※採取部に直接血液をつけないで下さい。血液量が少なくなり検査できない場合があります。
- ※2～3滴採れない場合には、すぐに予備の採血器具でもう一度採血を行い、同一プレートに加えて下さい。



指先にしぼり出すように

2. 採血プレートの採取部に、マッチ棒の先くらいの血液を2～3滴落とします。

- ※検査結果に影響がありますのでプレートは開けないで下さい。



採取部

5 乾燥・返送の準備

1. 採取終了後、採血部位を殺菌消毒綿でふきとり、絆創膏を貼って保護して下さい。



採取済み採血プレート

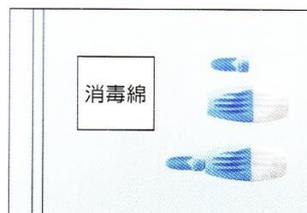


室温で
2時間以上
放置

2. 血液採取した採血プレートを室温で2時間以上放置し、自然乾燥させます。

- ※子供の手の届かない平らな場所で乾燥させて下さい。

3. チャック付ビニール袋①に採血器具(使用・未使用共)、外した保護キャップ、使用した消毒綿を入れチャックをしっかりと閉めて返却して下さい。

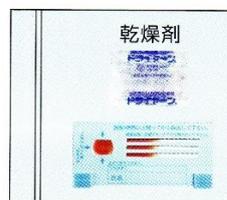


チャック付ビニール袋①

ビニール袋①の中に入れる物

- ・採血器具 2個 (使用・未使用)
- ・保護キャップ (採血器具から外したもの)
- ・使用した消毒綿

4. 乾燥した採血プレートと乾燥剤をもう1枚のビニール袋②に入れ、空気を抜きながらチャックをしっかりと閉めて下さい。



チャック付ビニール袋②

ビニール袋②の中に入れる物

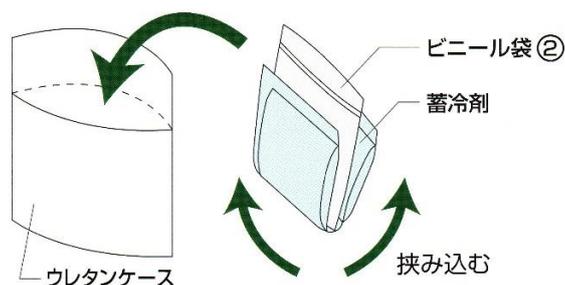
- ・採血プレート
- ・乾燥剤

- ※ここまですを夜(返送日前日)に行った場合は、ビニール袋②は冷蔵庫(冷凍庫は×)で保管し、翌日の投函前に次ページの作業を行って下さい。

5 乾燥・返送の準備つづき

5. 冷凍庫から、蓄冷剤が入ったウレタンケースを取り出し、その中に**5 手順4**の採血プレートと乾燥剤の入ったビニール袋②を蓄冷剤で図のように挟み込んで、ケースに入れケースの上蓋をセロテープ等で、**しっかり封**をして下さい。

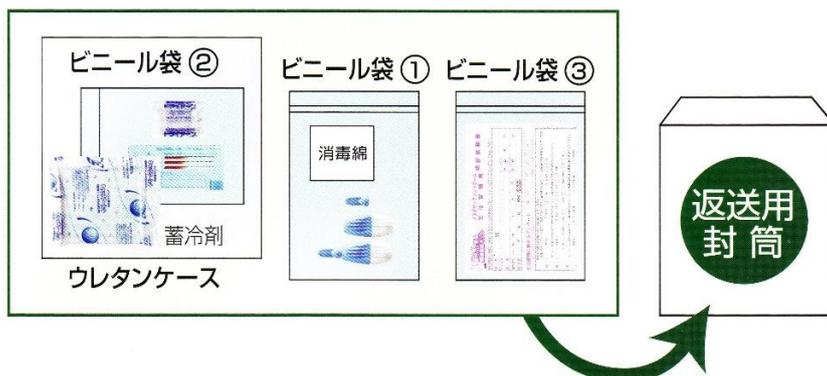
※蓄冷剤は、ポスト内の高温対策用です。



6. **1**で必要事項を記入した検診依頼書を、チャック付ビニール袋③に入れます。

※記入漏れがないか確認してください。

7. 住所・氏名を記入した返送用封筒の中に、採血プレートが入ったウレタンケース**(手順5)**、採血器具が入ったビニール袋**(手順3)**、ビニール袋入り**検診依頼書(手順6)**を入れ、のりとセロハンテープで**しっかり封**をします。



6 投函(切手不要)

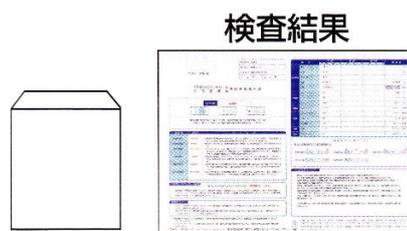
- 返送用の封筒には切手が貼ってありますのでそのまま投函して下さい。
投函はなるべく午前中をお願い致します。
返送の準備後、投函までに時間がかかる場合には、その間**冷蔵庫**(冷凍庫は×)で保管して下さい。

※午後になるとポスト内の温度が上がり、検査結果に影響を与える可能性があります。



7 検査結果のご報告

- 検査の結果は検体が到着後、約7日～10日で郵送にてご報告致します。



⚠️ <ご注意>

- 次に該当する場合はこの採血器具を使用しないで下さい。
 - 出血性の疾患で止血機能が低下している方
 - 特定の疾患の治療で、薬剤を服用し止血機能が低下している方
- 採血器具は分解したり使用目的以外に使わないで下さい。また、取り扱う時は、誤って自分や周囲の人を針で傷つけないよう十分注意して下さい。
- 採血器具はお子様の手が届かない場所に保管して下さい。
- 採血器具は1回用の使い捨てです。一度使用した採血器具の再使用や複数人での共用は衛生上の危険性があるため、絶対におやめ下さい。
- 使用後の採血器具は使い終わった状態のまま返送して下さい。
- 採血後は、刺した部分をティッシュペーパー等で軽く押さえ、保護用に絆創膏を貼って下さい。刺した部分が化膿した場合は、医師にご相談下さい。
- 蓄冷剤・乾燥剤の袋を破らないで下さい。蓄冷剤・乾燥剤は食べられません。
- 殺菌消毒綿は採血部位(指)の消毒以外に使用しないで下さい。使用後の殺菌消毒綿は必ず返送して下さい。
- 殺菌消毒綿の薬剤や蓄冷剤の内容物が誤って目や口に入った場合は、直ちに流水中で洗い流し、必要に応じて医師にご相談下さい。